

10. 教育プログラム評価推進委員会^{*1}

泉 美貴^{*2}（委員長・昭和大学医学部医学教育学講座）

恒川 幸司^{*3}（副委員長代行・岐阜大学医学教育開発研究センター）

教育プログラム評価（institutional research: IR）は、World Federation for Medical Education（WFME）Global Standard に基づいた分野別評価の結果から見て分かる通り、本邦の医学教育の中でも発展途上とされる分野である。医学教育の内部質保証のためには、まずデータに基づいた自己点検評価を行う必要がある。そのためには、自組織の教育活動について統括的にデータを収集・分析する機関、つまり IR 組織が必要となる。分野別評価の導入後、各大学医学部において IR 部門が設立され、自己点検により教育プログラムが評価されてきている。しかしながら、各大学の教育プログラム評価は手探りであり、大学間での情報共有も困難である。このため、IR の結果を効率的に活用し、真の教育改善（IE：Institutional Effectiveness）に繋げることが難しいという現状がある。

そこで、日本医学教育学会（第 21 期）では、各大学医学部・医科大学・研修病院における IR 部門の知見を集積・共有し、医学教育における IR 部門員を育成し技術力を向上させることによりエビデンスに基づいた日本の医学教育全体のボトムアップを目的として、本委員会が新設された。

委員会活動は、Covid-19 の蔓延に伴いすべて Web で開催した。まず、各委員の大学の IR 活動の現状を共有した。そして、第 53 回日本医学教育学会大会において、「教育プログラム評価の理論と実践～分野別評価進捗の観点から～」と題して、本委員会委員に加え、杉森公一教授（金沢大学）を招き、120 分のオンデマンド・シンポジウムを開催した。教学 IR に関する総論的な課題および、医学教育分野別評価の領域 7 で問われている教育プログラム評価に関する各大学の進捗状況について発表し、課題についてディスカッションをした。なお、本オンデマンド・シンポジウムの内容は、学会大会終了後も「医療系 IR 友の会ホームページ (<https://medirfriends.jp/>)」上にアーカイブされている。

今後は、各大学の IR 部門に蓄積されつつある知見をより積極的に共有し、IR 部門員の育成に資するワークショップやシンポジウムを実践していきたい。

委員長：泉美貴，副委員長代行：恒川幸司，委員：浅田義和，太田邦雄，岡田聡志，唐牛祐輔，那波伸敏

^{*1} Committee on Educational Program Evaluation

^{*2} Miki Izumi

^{*3} Koji Tsunekawa